

平成30年度 藍野高等学校 学校評価

1 めざす学校像

高等学校卒業生として必要な基礎・基本的な科学知識および一般教養を身に付けさせるとともに、准看護師養成校としての立場から、看護に関する基礎基本的な知識と技術を習得させ、看護の本質と社会的な意義を理解した心優しい職業人としての資質育成を行う。

2 中期的目標

1 基礎・基本的な学力の定着

- (1) 指導要領による教育課程の検証
- (2) 基礎力診断テスト（ベネッセ主催）の実施と考察
- (3) 個人面談の複数回実施
- (4) 長期休暇中の補習と放課後の希望者による補講の実施
- (5) 基礎教科における学力向上のためのグループ編成の研究と実施
- (6) 校外で実施される教員研修への参加奨励

2 准看護師資格試験合格者 100%達成

- (1) 准看護師資格試験模擬テストの複数回実施
- (2) 模擬テスト結果を参照した習熟度別グループ分けによる効果的な補習
- (3) 看護に関するレポート・小論文の作成指導の徹底
- (4) 関係医療機関との密な連携
- (5) 看護師を強く志望する意欲を持ち、学力に優れた入学生の確保

3 学習環境の整備

- (1) 校舎・校地の清掃の徹底
- (2) 教室・設備の充実

4 学校運営の充実と検証

- (1) 生活指導体制の強化と充実
- (2) 学校生活の充実を目的とした諸調査実施と検証
- (3) 教職員の質の向上

30年度 藍野高等学校 教育目標 自己評価 NO.1

中期的目標	新指導要領に伴い基礎・基本的な学力の定着	
本年度目標	基礎・基本的学力の定着を図る	
具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価・今後の改善方策
<p>ア. 4月末までにシラバスを作成、教育課程研究協議会等の教科研修会に積極的に参加する</p> <p>イ. 基礎力診断テスト(ベネッセ主催)を活用して生徒の学力を把握し、生徒全体の学力向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人面談の複数回実施 ・補習・補講の実施 <p>ウ. 基礎教科における学力向上のためのグループ編成の研究と実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力底上げのための教材準備 ・学習意欲の高い生徒への補助教材の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・新指導要領に即しているかを点検 ・教科研修会に多く参加できたか ・基礎力診断テストを活かしての学習改善・面談の複数回実施 ・定期考査後の補習を充実させる ・長期休暇中の課題・補講を全教科で考える ・基礎力診断テストによる学力グループ編成と検証 ・学力底上げのための教材準備 ・学習意欲の高い生徒への補助教材の準備 	<p>基礎・基本的学力の定着を図る</p> <p>ア. 4月末までにシラバスを作成、教育課程研究協議会等の教科研修会に積極的に参加する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新指導要領に即しているかを点検 ほぼ全教科・科目について、学習指導要領の内容に即したシラバスを期限内に作成することができた。 ・教科研修会に多く参加できたか 「生活指導」や「進路指導」などの研修会には参加できているが、教科関連の研修会には一部の教員しか参加できていない。 <p>イ. 基礎力診断テスト(ベネッセ主催)を活用して生徒の学力を把握し、生徒全体の学力向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人面談の複数回実施 ・補習・補講の実施 ・基礎力診断テストを活かしての学習改善・面談の複数回実施 生徒の学力把握を目的とした基礎力診断テスト(ベネッセ主催)英・数・国を各学期始めに実施しているが、その活用状況については学年や教科によりまちまちである。結果を積極的に活用して組織的に学習改善を行えるまでに至っていない。 新学期開始から生徒の個別面談を実施し、生徒の状況把握に努めた。ただ、学年・クラスにより実施状況にも差があるため、全学年で足並みをそろえて取り組めるように努力したい。 ・定期考査後の補習を充実させる 1・2学期の各期末考査において成績不振者(39点以下)全員に対して、長期休暇中に各教科4～5日間の補習を実施した。結果的に、参加生徒の学力向上への意欲を喚起できたと思われる。将来的には、成績不振者だけでなく成績上位層を対象にした特別授業も実施したい。 ・長期休暇中の課題・補講を全教科で考える 看護教科を中心に長期休暇中の課題を生徒に与え学力の向上を図った。ただ、長期休暇中の課題は教科担任の裁量にまかされているため、その内容や分量が適切であるかどうかの判断が難しい。新入生に対しては前年同様、中学の履修内容についての理解度を確認する目的で5教科(英数国理社)問題集を入学前に課題として与え、新学期開始時に提出させた。 <p>ウ. 英・数・国などの教科において、学力向上を意識した効果的なグループ編成を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎力診断テストによる学力グループ編成と検証 基礎力診断テスト(英・数・国)の結果は、各教科・各学年において分析し、授業やクラス運営に活かすことができるよう努めてはいるが、教科や学年によって取り組み状況に差がある。そのため、全体としては学力向上に向けて効果的な活用ができる状況には至っていない。 ・学力底上げのための教材準備 学力底上げのために中学校で扱われている内容に関する問題も活用して教材準備を行った。 ・学習意欲の高い生徒への補助教材の準備 学習意欲の低い生徒に対する支援教材の作成は教科担任が中心になって進めているが、学習意欲の高い生徒に対する教材作成までは手がまわっていない状況である。

<p>エ. 朝学習を実施し、生徒が主体的に学習に取り組めるようにする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員主導型でなく、できるだけ、生徒に主体的に参加をさせる 	<p>エ. 朝学習を実施し、生徒が主体的に学習に取り組めるようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員主導型でなく、できるだけ、生徒に主体的に参加をさせる <p>毎日の朝礼後に実施している「朝学習」については、生徒が主体的に参加できるような工夫をこらして各学年実施できている。学習到達度に応じて、生徒自身に問題作成や解答解説を行わせることにより、生徒の参加意識を高めることができた。ただ、学習意欲の低い生徒に対する指導方法など、今後取り組むべき課題も多い。</p>
<p>オ. 看護教科学習の研究を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・看護教育委員会の活動や研究を活発に行う 	<p>オ. 看護教育研究委員会を立ち上げる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護教員の連携を深める <p>看護教員間の連携が十分に取れていないため、「看護教育研究委員会」として必要な活動は行えていない。授業での指導方法や今後の看護教育のあり方などについて意見交換ができる環境を早急に整えることが必要である。</p>

30年度 藍野高等学校 教育目標 自己評価 NO.2

<p>中期的目標</p>	<p>准看護師資格試験合格者 100%連続達成</p>	
<p>本年度目標</p>	<p>准看護師資格試験合格者 100%達成</p>	
<p>具体的な取組計画・内容</p>	<p>評価指標</p>	<p>自己評価・今後の改善方策</p>
<p>ア 准看護師資格試験模擬テストの複数回実施も含め、3年間を通しての計画的な受験対策を行う</p>	<p>1年 看護に興味を持たせ、学習習慣を身につけさせ、基礎看護科目正解率 60%以上を目指す</p> <p>2年 自己学習力の強化を図り、復習を徹底し、看護専門科目正解率 60%以上を目指す</p> <p>3年 弱点克服学習を集中的に行い、准看護師試験全員合格を目指す</p>	<p>准看護師資格試験合格者 100%達成</p> <p>ア. 准看護師資格試験模擬テストの複数回実施も含め、3年間を通しての計画的な受験対策を行う</p> <p>1年 看護に興味を持たせ、学習習慣を身につけさせ、基礎看護科目正解率 60%以上を目指す</p> <p>低学年用の准看模試を年1回（2月）実施した。模試実施後は各設問についての解説を行い、復習をさせることで知識の定着を図った。</p> <p>2年 自己学習力の強化を図り、復習を徹底し、看護専門科目の正解率 60%以上を目指す</p> <p>低学年用の准看模試を年1回（2月、1年生と同一問題）実施した。朝学習の積み重ねが准看模試の結果につながるような取り組みを行うとともに、看護以外の教科も含めた全ての教科において看護に関連する分野への関心を持たすことができるよう努めた。自己学習が比較的進めやすい基礎看護全範囲についての復習を徹底して行った。</p> <p>3年 弱点克服学習を集中的に行い、准看護師試験全員合格を目指す</p> <p>日本模試センターの模試を3回、過去問を含む教員作成の模試を9回、計12回の准看模試を実施し、弱点把握と苦手分野の強化のために活用した。また、1月以降は模試結果によるグループ分けを行い、学習到達度に応じた対策講義を本番直前まで行った。特に到達度の低い生徒に対しては個別指導による対策講義を放課後に実施するとともに、関西広域連合（大阪府）以外の他府県の准看試験も併せて受験するよう指導した。前年は1名の不合格者を出したが、本年度は全員合格を達成することができた。</p>
<p>イ 模擬テスト結果による習熟度別グループに分けての効果的な補習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇前の模試でグループ分けを行った下位層が安全圏に近いところまで学力を伸ばせたか ・准看護師資格試験において、80%以上得点できる生徒が1/3を超えられるか 	<p>イ. 模擬テスト結果による習熟度別グループに分けての効果的な補習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇前の模試でグループ分けを行った下位層が安全圏に近いところまで学力を伸ばせたか <p>模試結果によって習熟度別にグループ分けを行い、グループ別に対策講義や放課後の補習を行った。到達度の低い生徒については、習熟度別のグループ分けにより効果的な内容の補習とすることができた。</p> <p>准看護師資格試験（関西広域連合主催）の各人の自己採点結果（得点）では80%（240点）以上得点できた生徒が80名中12名（15%）という結果であった。</p>

<p>ウ 看護実習の時間確保のため関係医療機関と連携する</p>	<p>・関係医療機関に迷惑をかけることがなかったか</p>	<p>ウ 看護実習の時間確保のため関係医療機関と連携する</p> <p>・関係医療機関に迷惑をかけることがなかったか</p> <p>実習担当教員が中心になり、関係医療機関と連絡を密にとることにより生徒にとって実りのある実習とすることができた。</p>
<p>エ 看護に関するレポートおよび小論文の書き方指導の徹底</p>	<p>・関係医療機関の指導者に満足してもらえるレポートだったか</p>	<p>エ 看護に関するレポートおよび小論文の書き方指導の徹底</p> <p>・関係医療機関の指導者に満足してもらえるレポートだったか</p> <p>自分の考えをまとめて文章で表現する力が不足している生徒が年々増加傾向にある状況を踏まえ、生徒のコミュニケーション力を育成する目的で「表現力養成講座」を各学年で実施するようになって4年目になる。ただ、「表現力養成講座」については担当教科・教員が曖昧である点、国語の授業時間内で実施しているために授業時間数が十分に確保できない点など課題も多い。</p>
<p>オ 看護師という職業に就きたいという気持ちが強く、学力の高い生徒の確保</p>	<p>・オープンスクールなどの募集関連の行事への参加者数や入学試験の受験者数はどうであったか</p>	<p>オ 看護師を強く志望する意欲を持ち、学力に優れた生徒の確保</p> <p>・オープンスクールなどの募集関連の行事への参加者数や入学試験の受験者数はどうであったか</p> <p>オープンスクール等の募集関連の行事において、「准看護師資格取得」が可能な高校である事を、前年同様、前面に出してPRすることで定員を上回る106名の入学者を集めることができた。本校入学後、生徒の看護師になりたいという気持ちを3年間にわたっていかに持続させるかということも大きな課題である。ホームルームなどの時間を活用し、看護師を志す上で重要と考えられる事項について生徒自身が考える機会を設けるようにしたい。</p>

30年度 藍野高等学校 教育目標 自己評価 NO.3

中期的目標	学習環境の整備	
本年度目標	安全で快適な学習環境の整備を行う	
具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価・今後の改善方策
<p>ア 校舎・校舎周りの清掃を徹底する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生を中心に清掃区域を担当し、全教職員での指導を徹底できたか 	<p>安全で快適な学習環境の整備を行う</p> <p>ア 校舎・校舎周りの清掃を徹底する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生を中心に清掃区域を担当し、全教職員での指導を徹底できたか <p>全教員指導のもと、1年生を中心に放課後、一斉清掃を行った。前年度の反省もふまえて体育館も清掃区域に加えるなどの改善も図った。</p>
<p>イ 所持品の管理・防犯のために生徒個人用ロッカーを有効活用する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯の面からもロッカーの使用法についての指導が徹底できたか 	<p>イ 所持品の管理・防犯のために生徒個人用ロッカーを有効活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯の面からもロッカーの使用法についての指導が徹底できたか <p>現金などの盗難防止のため、個人用ロッカーの施錠を生徒に徹底するよう指導した。以前と比較して盗難件数は減少したが、ロッカー施錠に対する意識が低い生徒も存在するため、これらの生徒に対する特別な指導も必要であると思われる。また、生徒の教室移動時の教員による教室の施錠などの管理についても現状では十分とはいえないため、管理体制も含めて見直しを行いたい。</p>
<p>ウ 教室や設備の迅速な改修を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教室や設備の不備を素早く見出し、関係部署に連絡を確実にできたか ・生徒に施設や設備保全のための指導を行えたか 	<p>ウ 教室・設備の迅速な改修を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室や設備の不備を素早く見出し、関係部署に連絡を確実にできたか ・生徒に施設や設備保全のための指導を行えたか <p>校舎内の巡回などをこまめに行うことにより、設備の不備箇所の早期発見に努めた。不備箇所確認後、修理までに時間をかなり要する点は改善の必要がある。また、大掛かりな改修が必要なものについては、法人本部とも協議しながら順次行っていきたい。</p> <p>環境保全のための生徒への指導については現状では十分に行えていない。器物破損件数は少ないが、生徒の関与が判明した個々の破損については、その都度、保護者も交え指導を行った。</p>
<p>エ 計画的に教室や設備の整備を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教室や設備の具体的な整備計画を検討する ・中長期計画の中に不足設備についての解決策の取り組みについて盛り込む 	<p>エ 計画的に教室・設備の整備を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室や設備の具体的な整備計画を検討する ・中長期計画の中に不足設備についての解決策の取り組みについて盛り込む <p>懸案事項である「女子トイレ増設」については予算等の関係もあって具体的な計画案作成まではいたっていない。また、台風により被害をうけたリフレッシュルーム棟の撤去に伴う教室数の減少により、授業運営にも支障が生じているため、早急な対応が必要である。</p> <p>校舎内の教室数に全く余裕のない状況であるため、女子寮や旧男子寮（誠和寮）の有効活用も含め対応していきたい。校舎の増改築も含む抜本的な改善策が必要になる。</p>

30年度 藍野高等学校 教育目標 自己評価 NO.4

<p>中期的目標</p>	<p>学校運営の充実と検証</p>	
<p>本年度目標</p>	<p>生活指導の充実と学校生活充実のための調査・検証</p>	
<p>具体的な取組計画・内容</p>	<p>評価指標</p>	<p>自己評価・今後の改善方策</p>
<p>ア 挨拶の習慣化をはかる</p> <p>イ 遅刻・早退・欠席をなくすための意識づけを行うとともに、家庭連絡を密に行う</p> <p>ウ 校内外の研修会を通し、共通理解をもとに教職員が全員で生活指導を行う</p> <p>エ 学校生活充実を目的とした調査の実施・検証</p> <p>オ 教職員研修の充実</p>	<p>・実習時だけではなく、普段の学校生活でも挨拶ができたか</p> <p>・バス遅延も見越しての早朝登校ができていますか</p> <p>・5分前行動が生徒だけでなく教職員もできているか</p> <p>・前年度に比べて遅刻者数が減少しているか</p> <p>・職員会議等の機会を利用して教職員の共通理解が図れたか</p> <p>・生徒ならびに保護者・教職員へのアンケートを実施し、学校生活の向上を図る</p> <p>・予算範囲内で可能な限り、校外での研修会への参加を図る</p> <p>・看護教育研究委員会を立ち上げ、研究を進める</p>	<p>基本的な生活習慣とマナーの確立と自主性・主体性の伸長</p> <p>ア 挨拶の習慣化をはかる</p> <p>・実習時だけではなく、普段の学校生活でも挨拶ができたか</p> <p>生徒会が中心になって登校時の校舎入口での「あいさつ運動」を行った。自分から積極的に挨拶ができる生徒は一定数はいるものの、挨拶をかえすことすらできない生徒もいるため、指導を強化する必要がある。</p> <p>イ 遅刻・早退・欠席をなくすための意識づけを行うとともに、家庭連絡を密に行う</p> <p>・バスの遅延も見越して早朝登校ができていますか</p> <p>雨天時のバスの遅延による遅刻者は前年同様に多い。遅刻数が極端に多い特定の生徒への指導方法については今後の検討課題である。また、授業開始時間に遅れて教室に入る教員も散見されるため、教員自身も自覚をもって行動する必要がある。</p> <p>・5分前行動が生徒だけでなく教職員もできているか</p> <p>教員の5分前行動については、以前より改善されてきてはいるものの、まだまだ十分といえる状況ではなく、今後の努力が必要である。</p> <p>・前年度に比べて遅刻者数が減少しているか</p> <p>余裕を持った登校を呼びかけたりしたものの、前年度と比較して学校全体での遅刻者数の減少は見られなかった。</p> <p>ウ 校内外の研修会を通し、共通理解をもとに教職員が全員で生活指導を行う</p> <p>・職員会議等の機会を利用して教職員の共通理解が図れたか</p> <p>生活指導部が中心になって日々の生徒の生活指導に取り組んでいるが、学年や教員によって指導の内容に差が出てしまい、それが生徒の不満に結びつくという現状がある。全教職員が足並みをそろえて指導ができる体制作りが必要であるが、生活指導上の事案については生活指導部から他校の状況も報告され、本校の生活指導に役立てることができている。</p> <p>エ 学校生活充実を目的とした調査の実施・検証</p> <p>・生徒ならびに保護者・教職員へのアンケートを実施し、学校生活の向上を図る</p> <p>生徒を対象として定期的（年数回）に「学校生活アンケート」を実施し、いじめ問題等も含めた状況把握に努めている。また、保護者や教職員を対象にしたアンケートは年1回（6月頃）実施している。アンケート結果からさまざまな課題が見えてきているものの、それらに十分に対応できていない。</p> <p>オ 教職員研修の充実</p> <p>・予算範囲内で可能な限り、校外での研修会への参加を図る</p> <p>予算内で校外研修会に積極的に参加するよう心がけてはいるが、まだまだ満足できる参加状況であるといえない。校内での教職員研修については、「分掌」や「教科」に関係するものを含め、組織的に実施できているとはいえない。特に、校内における新入職員を対象とした研修については、ほとんど実施できていない状況である。</p> <p>・看護教育研究委員会を立ち上げ、研究を進める</p> <p>看護教育の推進を目的として校内で立ち上げた「看護教育研究委員会」については十分に機能しているとはいえない。組織的・計画的な運営ができるよう努めていきたい。</p>

学校評価アンケートの結果と分析 [2019年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望		
<p>保護者アンケート全般について</p> <p>平成26年度以降、毎年6月に保護者に対して同一設問で学校評価アンケートを実施し、その結果を分析している。新学期が始まって間もない時期のため、保護者には前年度の状況も含めて評価してもらうよう依頼した。</p> <p>全体での回収率は、26年度 71.3% 27年度 78.0% 28年度 80.1% 29年度 82.7% 30年度 80.3% 2019年度 77.9%で、近年は8割前後の回収率となっている。</p> <p>過去5年間の回収率は下記の通りで、1年生は新鮮味もあるのか比較的高く、学年が上がるにつれ低くなる傾向が見られる。なお、回収は担任が中心になって行うため、担任の取り組み方にも左右されると考えられる。前年までは学年によって回収率に大きな差があったが、今回については学年による回収率の差はほとんどなかった。</p> <p>1年保護者 84.0%→91.1%→95.5%→78.0%→78.9% 2年保護者 70.0%→77.6%→82.5%→98.8%→78.4% 3年保護者 77.6%→70.5%→71.1%→66.3%→75.6%</p> <p>「分析」</p> <p>「危機管理や安全対策」並びに「施設・設備面」の項目については、例年同様、他と比較して否定的な回答が多かった。特に2・3年生と学年が上がるに伴い、施設・設備面での改善が捗らない状況に不満を持っている保護者も多いことがうかがえた。また、進路に関する指導や情報提供が十分でないという回答した保護者も多かったため、今後は何らかの対応が必要になる。</p> <p>I 特色や方針の明確化について</p> <p>Q1 藍野高等学校からの各種案内文書・ホームページ・保護者会等の機会において、学校の特色や方針を明確に示すことができていると思いますか？</p> <table border="1" data-bbox="119 1541 826 1630"> <tr> <td>数値は%、()内は昨年度</td> </tr> <tr> <td>肯定の数値：評価する+ある程度評価する（以下同様）</td> </tr> </table> <p>3年 肯定 19+55 (25+55) やや否定 12(8) 否定 0(6) 2年 肯定 17+63 (33+43) やや否定 8(6) 否定 0(4) 1年 肯定 41+43 (35+43) やや否定 4(4) 否定 2(0)</p> <p>「分析 I」</p> <p>本校の教育課程の特殊性や教育方針については、オープンスクール等の機会を通じ説明を十分に言い、保護者・中学生に理解を深めてもらえるよう心がけた。また、ホームページ内容の充実に努めたこともあり否定的な回答の割合は前年より減少したが、行事等についての広報をさらにわかりやすく丁寧に行うよう努めたい。教職員のアンケートでは肯定的回答が多かったものの、ホームページ内容の見直しが必要という指摘もあった。</p>	数値は%、()内は昨年度	肯定の数値：評価する+ある程度評価する（以下同様）	<p>「全般について」</p> <p>A氏より</p> <p>3年生の保護者のアンケート回収率が低いのは、アンケートが保護者に届かなかつたり、関心も薄れているからではないかと思えます。寮としても危機管理・安全対策を考えていかなければと思っています。</p> <p>B氏より</p> <p>各学年回収率に差はないものの、もう少し高い回収率にできるよう担任の先生方の努力・工夫が必要ではないでしょうか。</p> <p>C氏より</p> <p>保護者と教職員のアンケート以外に生徒を対象としたアンケートも検討されてはいかがでしょうか？もちろん質問は学習や自己の成長感、学校に対する要望など、保護者・教職員のものとはやや異なるものとなるでしょう。また、毎日の学習時間や携帯の使用時間など、生活習慣に関するアンケートは取られているのでしょうか？生徒の意見などを聞く必要はないという意見もあるのかもしれませんが、いくら未熟でも学習者の視点を重視するのが昨今の動向ですから。</p> <p>D氏より</p> <p>アンケート用紙には任意での名前記入欄が設けてありますが、個人が特定される可能性が提出率や回答内容に影響を及ぼすことも考えられます。</p> <p>「特色や方針の明確化について」</p> <p>A氏より</p> <p>藍野高校は准看護師養成を目的とした高校ですが、卒業後の進路等についても常に明確に示すことができていると思います。</p> <p>B氏より</p> <p>日々の学習の取り組みなどについても情報を提供してほしい。ホームページからより多くの情報が得られるようになることを期待します。</p> <p>D氏より</p> <p>1年生では肯定的な回答の割合が高くなっていますが、入学前の学校説明会の印象が残っているということも影響しているのではないのでしょうか。</p>
数値は%、()内は昨年度			
肯定の数値：評価する+ある程度評価する（以下同様）			

学校評価アンケートの結果と分析 [2019年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望
<p>Ⅱ 危機管理や安全対策について</p> <p>Q2 学校は危機管理や安全対策に努めていると思いますか?(生徒への危機管理教育・安全指導・学校全体のセキュリティについて)</p> <p style="text-align: right;">数値は%、()内は昨年度</p> <p>3年 肯定 19+54(11+47) やや否定 10(21) 否定 3(8) 2年 肯定 23+46(20+48) やや否定 16(16) 否定 1(7) 1年 肯定 22+41(33+33) やや否定 9(9) 否定 1(1)</p> <p>「分析 Ⅱ」</p> <p>生徒用個人ロッカーおよび監視カメラ(廊下)の設置を平成26年度に行ったことで、一定の危機管理対策を推進することができたと考えている。ただ、アンケート結果では否定的な意見を持つ保護者・生徒が一定数存在する。教職員のアンケートでも、耐震対策を含めた施設・設備面での充実の必要性に加え、教職員の危機意識の欠如など、学校自体のセキュリティー面での不備や生徒への危機管理教育の必要性を指摘する意見があった。危機管理や安全についての講話をHR時などに担任が生徒に対して随時行うよう努めてはいるが、計画的には実施できていないため、組織的な取り組みも今後必要になってくると思われる。</p> <p>また、女子寮が併設されているため、寮における火災や地震の際の避難計画なども含めた安全対策についても併せて考えていく必要がある。</p> <p>Ⅲ 教職員の対応</p> <p>Q3 学校に電話をかけられたとき、あるいは来校されたときに、教職員の対応は適切であると思いますか?</p> <p style="text-align: right;">数値は%、()内は昨年度</p> <p>3年肯定 52+41(45+36) やや否定 3(9) 否定 2(2) 2年肯定 59+34(53+43) やや否定 5(0) 否定 1(0) 1年肯定 63+23(63+25) やや否定 4(7) 否定 0(2)</p> <p>「分析 Ⅲ」</p> <p>例年のことではあるが、保護者アンケートでの教職員の対応については肯定的な意見が大半を占め、評価は非常に高い。教職員のアンケートにおいても、全員が肯定的な回答をしており、否定的な回答はなかった。</p> <p>今後も、保護者や生徒に対しては、懇切・丁寧な対応に努めていきたい。</p>	<p>「危機管理や安全対策について」</p> <p>A氏より</p> <p>危機管理および安全対策面については学校も努力しているとは思いますが、徹底できていないように思います。</p> <p>B氏より</p> <p>予算面のことがあるとは思いますが、施設自体の耐震対策が不十分であるので、改善すべきだと思います。</p> <p>C氏より</p> <p>よく努力されていると思います。</p> <p>D氏より</p> <p>校舎や体育館の地震・暴風雨など自然災害への対策、安全性にさらに力を入れていただきたいです。</p> <p>「教職員の対応について」</p> <p>A氏より</p> <p>教職員の方の保護者や外部の方への対応は大変丁寧で全く問題はないと思います。</p> <p>B氏より</p> <p>保護者に対して丁寧にかもしっかりした対応をしてもらっています。</p> <p>C氏より</p> <p>教職員の方々の対応は毎回感心するほど丁寧で、子供たちを安心して任せる事ができています。</p> <p>D氏より</p> <p>公立校においては夜半、外部からの電話は学校に直接つながらないなど、働き方改革に沿って保護者対応も変化してきている中、藍野高校の教職員の方々の対応は懇切丁寧だと思います。</p>

学校評価アンケートの結果と分析 [2019年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望
<p>IV 施設・設備等の教育環境の充実について</p> <p>Q4 学校は、施設・設備等の教育環境の充実に努めていると思いますか? 数値は %、()内は昨年度</p> <p>3年 肯定 14+41(9+53) やや否定 25(20) 否定 12(9)</p> <p>2年 肯定 23+42(16+46) やや否定 20(19) 否定 4(11)</p> <p>1年 肯定 32+47(31+39) やや否定 7(16) 否定 7(5)</p> <p>「分析 IV」</p> <p>否定的な意見の割合が最も多い項目である。現状の1学年3クラス編成では、校舎内において自由に使用できる予備教室が無く、施設・設備の不十分さは際立ってきている。大学の教室を借りるなど、応急的に対応してはいるものの、校舎の増改築等も含む抜本的な改善策が必要と思われる。また、音楽室、理科実験室、情報処理室などの施設・設備についても教育環境の充実という点から考えると必要不可欠なものである。予算等の関係もあるため、法人本部の協力も得ながら早期解決に向けて取り組みたい。</p> <p>校舎内の看護実習施設や設備については保護者にも一定の評価がなされていると考えられる。</p> <p>V 保護者との連携や情報発信について</p> <p>Q5 学校は、保護者との連携や情報発信に努めていると思いますか? 数値は%、()内は昨年度</p> <p>3年 肯定 22+53(17+49) やや否定 20(25) 否定 0(2)</p> <p>2年 肯定 27+45(28+53) やや否定 20(16) 否定 2(1)</p> <p>1年 肯定 23+45(27+46) やや否定 11(10) 否定 2(4)</p> <p>「分析 V」</p> <p>フェアキャスト（学校連絡網サービス）の導入により教職員の負担は軽減され、保護者・生徒への緊急時の連絡を短時間で確実にできるようになっている。</p> <p>アンケートでは保護者、教職員ともに約7割が肯定的な回答であったが、学校内でのことをもっと詳しく知りたいという保護者の声も多い。学年通信や学級通信の発行回数を増やすなど、保護者への情報発信の機会を増やし保護者との連携を深めるよう努力したい。</p> <p>なお、地域との連携については教職員の半数以上が取り組み不十分であるという回答であった。地域との連携や情報発信についても、今後、積極的に進めていくことが必要になる。</p>	<p>「施設・設備等の教育環境の充実について」</p> <p>A氏より</p> <p>施設・設備については以前からの懸案事項である「女子トイレ」の増設がなされていません。開校以来、設備面については何ら改善されることのない状況だと思います。校舎前の水道周りの整備も必要だと考えます。</p> <p>B氏より</p> <p>女子トイレが少なく苦勞しているということをお子から聞いています。早期に改善していただけないでしょうか。</p> <p>D氏より</p> <p>3年生になって肯定的な意見が大幅に減るのは、学校設備等が改善されないあきらめや怒りの意味合いが含まれているのではないのでしょうか。評価委員として毎年のように「女子トイレ増設が望まれる」と発言させていただいていますが、全く取り組んでいただけないのはなぜでしょうか。トイレ増設だけでなく、体育館の整備なども含め、生徒第一の視点で再考いただきたいです。</p> <p>「保護者との連携や情報発信について」</p> <p>B氏より</p> <p>保護者がどのような情報を求めているのかについて十分な分析ができていないのでしょうか。学校からの働きかけが一方通行にならないように注意すべきだと思います。</p> <p>C氏より</p> <p>適切に対応されていると思います。</p> <p>D氏より</p> <p>フェアキャストの導入により、本人や保護者への緊急時の連絡は十分になされていると思います。</p>

学校評価アンケートの結果と分析 [2019年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望																																				
<p>VI 授業の工夫について</p> <p>Q6 授業の内容や指導方法に、工夫がされていると思いますか? 数値は%、()内は昨年度</p> <table border="0"> <tr> <td>3年 肯定</td> <td>22+39(10+56)</td> <td>やや否定</td> <td>10(10)</td> <td>否定</td> <td>5(6)</td> </tr> <tr> <td>2年 肯定</td> <td>18+52(27+39)</td> <td>やや否定</td> <td>2(10)</td> <td>否定</td> <td>1(2)</td> </tr> <tr> <td>1年 肯定</td> <td>36+30(35+37)</td> <td>やや否定</td> <td>4(5)</td> <td>否定</td> <td>2(0)</td> </tr> </table> <p>「分析 VI」</p> <p>教職員のアンケートでは、大半の教員が授業内容や教材、指導方法に工夫をしていると回答していたが、約半数は組織的な取り組みが出来ていないと回答していた。</p> <p>全ての授業を対象にしたマークシート形式の授業アンケートを1学期終了直後に実施し、その結果を各教員にフィードバックすることで2学期以降の授業改善の参考としてもらった。本校教員による研究授業の実施や保護者による授業参観の機会を設けるなど、教員のスキルアップを目的とした組織的な取り組みが今後は必要になると考える。また、教科毎に行われている研修会などに各教員が積極的に参加することで、授業内容や指導方法の改善を図っていきたい。</p> <p>VII 生徒の悩みや問題について</p> <p>Q7. 学校は生徒の悩みや問題に対して適切に対応できていると思いますか? 数値は%、()内は昨年度</p> <table border="0"> <tr> <td>3年 肯定</td> <td>27+32(25+40)</td> <td>やや否定</td> <td>10(6)</td> <td>否定</td> <td>5(8)</td> </tr> <tr> <td>2年 肯定</td> <td>23+38(33+33)</td> <td>やや否定</td> <td>2(14)</td> <td>否定</td> <td>1(5)</td> </tr> <tr> <td>1年 肯定</td> <td>31+29(30+26)</td> <td>やや否定</td> <td>4(6)</td> <td>否定</td> <td>2(1)</td> </tr> </table> <p>「分析 VII」</p> <p>教職員のアンケートでは9割以上が肯定的な回答をしている。保護者アンケートでは6割の保護者が肯定的な回答をしているが否定的な意見が1割程度みられる。本校の教職員の大半は、クラス担任を中心として日頃から生徒の体調や出席状況の把握に努め、小まめな声掛けや面談も積極的に行い、保護者との連絡も密にするよう心がけている。長期休暇中も含めて必要に応じ実施している生徒や保護者との個別面談に加え、定期的に行っている「学校生活アンケート」の結果なども参考にした上で、「いじめ」を含む生徒間のトラブルには日頃から注意を払うようにしたい。また、問題が発生した場合には、組織的にかつ速やかに対応ができるような体制づくりを心がけていきたい。</p>	3年 肯定	22+39(10+56)	やや否定	10(10)	否定	5(6)	2年 肯定	18+52(27+39)	やや否定	2(10)	否定	1(2)	1年 肯定	36+30(35+37)	やや否定	4(5)	否定	2(0)	3年 肯定	27+32(25+40)	やや否定	10(6)	否定	5(8)	2年 肯定	23+38(33+33)	やや否定	2(14)	否定	1(5)	1年 肯定	31+29(30+26)	やや否定	4(6)	否定	2(1)	<p>「授業の工夫について」</p> <p>B氏より</p> <p>授業の工夫については保護者が実際に評価することが困難であるため、子供の意見を聞いての結果がこのような評価になっていると思われます。外部からの非常勤講師が多いため、工夫が難しい部分も理解できます。</p> <p>C氏より</p> <p>毎回、教職員の回答で「組織的な取り組みができていない」が目立っていますが、具体的な取り組み→アクションを検討されているのでしょうか?PDC Aが廻っていることを示す必要があると思います。</p> <p>D氏より</p> <p>先生方がせっかく個々で熱心な授業をされているのですから、研究授業等を行うことにより組織的な取り組みへと発展させてもらいたいと思います。</p> <p>「生徒の悩みや問題について」</p> <p>A氏より</p> <p>生徒の悩みや相談事については担任や生活指導の先生方が中心になって丁寧に対応して頂いていると思います。</p> <p>B氏より</p> <p>生徒の相談などには親身になってのっていただいていると聞いています。</p> <p>C氏より</p> <p>アンケートを見る限り適切に対応されていると思いますが、やはり生徒自身の生の意見や満足度がどうか気になります。</p> <p>D氏より</p> <p>他の高校に比べ、藍野高校の先生方は生徒一人一人に寄り添い、悩みの解決に尽力されていると思います。</p>
3年 肯定	22+39(10+56)	やや否定	10(10)	否定	5(6)																																
2年 肯定	18+52(27+39)	やや否定	2(10)	否定	1(2)																																
1年 肯定	36+30(35+37)	やや否定	4(5)	否定	2(0)																																
3年 肯定	27+32(25+40)	やや否定	10(6)	否定	5(8)																																
2年 肯定	23+38(33+33)	やや否定	2(14)	否定	1(5)																																
1年 肯定	31+29(30+26)	やや否定	4(6)	否定	2(1)																																

学校評価アンケートの結果と分析 [年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望																																										
<p>VIII 高校生の服装やマナー等について</p> <p>Q8. 藍野高等学校生の礼儀や挨拶ならびに頭髪・服装等身だしなみはきちんとしていますか?</p> <p style="text-align: right;">数値は%、()内は昨年度</p> <table border="0"> <tr> <td>3年</td> <td>肯定</td> <td>14+51(14+53)</td> <td>やや否定</td> <td>20(19)</td> <td>否定</td> <td>3(6)</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>肯定</td> <td>28+52(32+49)</td> <td>やや否定</td> <td>10(10)</td> <td>否定</td> <td>1(3)</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>肯定</td> <td>31+54(37+49)</td> <td>やや否定</td> <td>2(1)</td> <td>否定</td> <td>2(1)</td> </tr> </table> <p>「分析 VIII」</p> <p>1・2年生では8～9割の保護者が肯定的に捉えている。例年の傾向ではあるが、3年生では肯定的な意見の保護者の割合が1・2年生と比較すると低く、学年があがるにつれて服装の乱れなどが目立つ傾向が認められる。また、教職員では肯定的な意見が約6割、否定的な意見が約3割を占めている。服装やマナー等に関する指導は生活指導部が中心になり全教職員で行っているが、学年や教員によって指導内容に差が出てしまい、それが生徒の不満にも結びつくという状況が続いている。生徒を対象としたアンケート等では、学校の厳しい指導に対する不満が記入されているが、将来の医療従事者である自覚を促し、教職員が足並みをそろえて粘り強く指導していくことが重要であると考えられる。</p> <p>IX 清掃や整理整頓について</p> <p>Q9 学校は清掃や整理整頓が行き届いていると思いますか?</p> <p style="text-align: right;">数値は%、()内は昨年度</p> <table border="0"> <tr> <td>3年</td> <td>肯定</td> <td>30+50(24+60)</td> <td>やや否定</td> <td>5(4)</td> <td>否定</td> <td>0(6)</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>肯定</td> <td>32+48(35+53)</td> <td>やや否定</td> <td>3(5)</td> <td>否定</td> <td>0(0)</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>肯定</td> <td>42+34(45+33)</td> <td>やや否定</td> <td>0(2)</td> <td>否定</td> <td>2(0)</td> </tr> </table> <p>「分析 IX」</p> <p>例年同様、放課後に1年生が全員で教室以外の全区域の清掃を行った。保護者アンケートの結果では、各学年とも約8割の保護者が肯定的な回答をしている。また、教職員も約7割が肯定的な回答をしており、清掃・美化に対する学校での取り組みが一応成果を上げているものと考えられる。前年の反省をふまえ、清掃箇所の見直しを行い、体育館も清掃区域に加えることにした。</p>	3年	肯定	14+51(14+53)	やや否定	20(19)	否定	3(6)	2年	肯定	28+52(32+49)	やや否定	10(10)	否定	1(3)	1年	肯定	31+54(37+49)	やや否定	2(1)	否定	2(1)	3年	肯定	30+50(24+60)	やや否定	5(4)	否定	0(6)	2年	肯定	32+48(35+53)	やや否定	3(5)	否定	0(0)	1年	肯定	42+34(45+33)	やや否定	0(2)	否定	2(0)	<p>「高校生の服装やマナーについて」</p> <p>A氏より</p> <p>服装や頭髪の乱れが年々目立ってきているように感じています。担任の先生方も徹底して注意されていないように思います。全ての先生が統一した形で注意して頂くのが望ましいと考えます。</p> <p>B氏より</p> <p>昨年度と比較して肯定の割合が低くなっていることが気になります。生徒指導の強化を図るべきではないでしょうか。</p> <p>C氏より</p> <p>3年生保護者で肯定的意見が少ないというのは具体的にどのような部分を指しているのでしょうか？単なる年齢的なものなのか、それとも何かに対する不満、反発の表れなのか。</p> <p>D氏より</p> <p>実習時だけではなく普段からマナーや身だしなみを整えることは医療現場で出会う様々な世代の患者さんへの礼節につながると 생각합니다。</p> <p>「清掃や整理整頓について」</p> <p>A氏より</p> <p>校舎の外周に関する限り、昨年よりきれいにできています。</p> <p>B氏より</p> <p>上靴に履き替えない藍野高校ですが、いつもきれいだと思います。教室清掃では大きなゴミが落ちていることもあり、生徒の美化意識を変えさせることも必要かと思えます。</p> <p>C氏より</p> <p>適切に対応されていると感じます。</p> <p>D氏より</p> <p>昨年度から見直しされた結果、清掃場所は増えたかもしれませんが、先生方の丁寧な取り組みで学校全体がきれいになったと感じます。</p>
3年	肯定	14+51(14+53)	やや否定	20(19)	否定	3(6)																																					
2年	肯定	28+52(32+49)	やや否定	10(10)	否定	1(3)																																					
1年	肯定	31+54(37+49)	やや否定	2(1)	否定	2(1)																																					
3年	肯定	30+50(24+60)	やや否定	5(4)	否定	0(6)																																					
2年	肯定	32+48(35+53)	やや否定	3(5)	否定	0(0)																																					
1年	肯定	42+34(45+33)	やや否定	0(2)	否定	2(0)																																					

学校評価アンケートの結果と分析 [2019年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望
<p>X 進路に関する指導について</p> <p>Q10 進路に関する指導や面接、情報提供等が十分に行われていると思いますか? 数値は%、()内は昨年度</p> <p>3年 肯定 19+35(14+42) やや否定 19(23) 否定 5(6)</p> <p>2年 肯定 18+28(19+34) やや否定 12(19) 否定 5(2)</p> <p>1年 肯定 17+22(20+29) やや否定 2(5) 否定 2(0)</p> <p>「分析 X」</p> <p>肯定的な回答が保護者では約5割と少なく、アンケート項目中、肯定的な回答の割合が最も低い項目であった。ただ、否定的な回答が多いというわけではなく、「判断できない(わからない)」という回答が全体の約4割を占めている。</p> <p>生徒全員が看護師を志し、その大半が卒業後、短期大学部に内部進学するという本校の特殊事情もあって、生徒や保護者に進路関係の情報を提供する機会を積極的に作ろうとしてはこなかった。ただ、短期大学部(2年制)は近い将来に改組が予定されており、現在のように本校の生徒が第一志望とする進学先とはなりえない可能性も高い。そのため、今後は医療系の専門学校や大学に関する入試情報の収集・分析に加え、指定校推薦枠の確保等にむけての努力が必要になってくる。保護者・生徒が必要とする情報を速やかにかつ正確に提供できるような体制づくりが急務となる。また、進路に関する情報や取り組みについて学年通信やホームページなどを通じて積極的に発信するということも重要である。</p> <p>XI 学校行事等について</p> <p>Q11 生徒は学校行事や生徒会行事に満足していると思いますか? %で表示 ()内は昨年度</p> <p>3年 肯定 14+54(17+51) やや否定 19(15) 否定 3(6)</p> <p>2年 肯定 15+55(15+51) やや否定 16(15) 否定 3(9)</p> <p>1年 肯定 19+55(23+51) やや否定 7(9) 否定 2(5)</p> <p>「分析 XI」</p> <p>保護者の約2割が否定的な回答をしているが、最近3年間についてのアンケート結果では、否定的な回答の割合は30%→19%→17%と減少傾向にある。高校単独で実施していた文化祭を取りやめて平成29年度から大学主催の「あいの祭」に参加し、模擬店などの取り組みを学校全体で積極的に行ったことも否定的な回答の割合が減少した大きな要因であると考えられる。職業高校の現実として授業時間数の関係もあって全学年をあげて学校行事に取り組める時間数は限られる。そのため、学校行事の運営に加えて新たな学校行事の企画・立案を生徒会が中心になって行うことができるよう、教職員も積極的に関わっていく必要がある。</p>	<p>「進路に関する指導について」</p> <p>A氏より</p> <p>2年生あたりから色々と専門学校の資料を集めている生徒もいるようです。進路についても先生方によく話を聞いてもらっているみたいで、安心しております。</p> <p>B氏より</p> <p>進路の多様化にあわせた情報提供ができるような進路指導体制を作っていただきたい。</p> <p>C氏より</p> <p>1年生保護者の過半数が「判断できない(わからない)」と回答しており、今後、保護者と高校とで情報のやり取りをお願いしたい。まず、保護者や生徒の希望が何なのか、不安を取り除く上で学校として何ができるのか、について早めのアクションを取られることを期待します。</p> <p>「学校行事等について」</p> <p>A氏より</p> <p>時間の確保が難しい中で、先生方も生徒もいろいろなアイデアを出し合い、よく動いてくださっていると思います。</p> <p>B氏より</p> <p>藍野高校は職業高校であり、高校卒業・准看護師免許の取得という2つのカリキュラムを3年間でこなすという厳しい現状があります。そのことがうまく伝わっておらず、行事日数が少ないととらえられているのではないかと感じます。</p> <p>D氏より</p> <p>体育大会が「楽しかった」と多くの生徒が言っていました。実習等で限られた時間の中で、生徒の気分転換や別分野での学びにつながる学校行事を工夫して実施されていると思います。</p>